

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堺東駅前地区第一種市街地再開発	階数	地上25F
建設地	大阪府堺市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、集合住宅、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 0.0	評価の実施日	2017年3月31日
敷地面積	3,662 m ²	作成者	福田純一
建築面積	3,169 m ²	確認日	2017年3月31日
延床面積	47,165 m ²	確認者	菊池 憲一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 82%
 ③上記+②以外の 82%
 ④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 4
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR1 エネルギー: 2
 LR2 資源・マテリアル: 1
 LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺になじむよう、高層部を低層部からセットバックさせた建物デザインとする。外部環境は堺東駅から接続するデッキ等により配置を決定し、ユニバーサルデザインにも配慮した。内部空間は、自然の昼光を十分に享受できるようにするとともに、維持管理のしやすさにも配慮。		その他 既存建物の基礎を再利用し、杭も不要にすることで廃棄物の削減に配慮する。
Q1 室内環境 快適な室内空間を確保できるよう配慮した計画とした。内部空間は、自然の昼光を十分に享受できるように全戸で日照を確保した。また内装材料にF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 ユニバーサルデザインに配慮した快適な空間を提供できるように計画した。耐用性、信頼性については劣化対策等級3とするなど、十分に配慮した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 駅からつながるデッキ及び、デッキ下の歩行空間を開放し、利便性と賑わいを創出する。
LR1 エネルギー 住宅性能表示基準の「断熱等性能等級」における等級3同等の性能を有する断熱材によりエネルギーの削減に配慮した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器やリサイクル資材の採用など資源の再利用を図るとともに、水資源の保護に努めた計画とした。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場及び駐輪台数の確保等、敷地外環境に配慮した計画とする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺東駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区三国ヶ丘	1.5	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 47,164.90 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.7	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				3.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.8
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.8
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				対象外
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.4	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	